

「防災まちづくり事業」の主な内容

防災まちづくり事業を実施する地区では、助成制度を拡充するなど、集中的に地域の防災性向上に取り組みます。

1 古い住宅の建替え等の費用を助成します！

防災まちづくり事業を実施する地区では、昭和56年5月以前に新築の工事に着手した住宅（旧耐震住宅）の建替え、解体および耐震改修の費用を助成します。

〔建替え（解体＋新築）〕 助成金額：225万円 上限
 〔解体のみ〕 助成金額：150万円 上限
 〔耐震改修工事〕 助成金額：270万円 上限

※このほか面積単価等による上限および諸条件があります。
 ※旧耐震住宅の解体および耐震改修に関する助成の拡充は、令和10年3月までの期間限定です。
 ※上記助成のほか昭和56年6月1日から平成12年5月31日までに新築の工事に着手した木造2階建て以下の在来軸組工法（基礎はコンクリート造）の住宅（新耐震木造住宅）の耐震改修の費用を助成します。（130万円上限）

拡充

2 狭あい道路の解消等を支援します！

防災まちづくり事業を実施する地区の狭あい幅促進路線沿いでは、狭あい道路（公道）を拡幅する際の土地の寄付に対して奨励金を交付します。

交付金額：20万円 上限 ※このほか面積×路線価×0.1の上限があります。

拡充

3 危険なブロック塀等の撤去費用を助成します！

防災まちづくり事業を実施する地区の開そく防止路線沿いでは、危険なブロック塀等の撤去費用の助成金額を拡充します。

助成金額：21,000円/m 上限

※指定路線以外での助成金額：通常8,000円/m上限、危険性の高いブロック塀等の場合19,000円/m上限
 ※撤去する部分が高さ1mを超えるブロック塀等の場合、その高さに応じた助成額の加算があります。
 ※その他、道路沿いの生け垣新設にかかる費用助成の制度があります。

拡充

4 新たな防火規制（建築物の耐火性の規制）を導入

5 防災イベント等の開催

6 「防災まちづくりニュース」を発行

※ 助成要件や助成額算定方法等の詳細については、下記までお問い合わせいただくか、ホームページをご参照ください。

お問い合わせ先

練馬区 都市整備部 防災まちづくり課 防災まちづくり担当係
 電話：03-5984-1303 F A X：03-5984-1225
 E-mail：BOUMACHI@city.nerima.tokyo.jp
 発行日：令和2年6月（令和6年4月更新）

練馬区のホームページでも、「防災まちづくり」を紹介しています。トップページの検索欄で『防災まちづくり』と入力するか、右の二次元コードでアクセスしてください。

防災まちづくり



みんなで進めよう 防災まちづくり

— 各種助成制度のご案内 —

発行：練馬区

東京都では、近い将来、首都直下地震の発生が懸念されており、練馬区でも、建築物の損壊や火災などの大きな被害が想定されています。

こうした被害を最小限に抑え、ご自身の住まいやまちを守るために「一人一人ができることは何か？」防災まちづくりの観点から、ぜひ一緒に考えていきましょう。

いつ起こってもおかしくない大規模災害

練馬区の被害想定（抜粋）
 練馬区の想定震度6弱～6強（冬・夕方 風速8m/sの場合）

	多摩東部直下地震(M7.3)
建物全壊棟数	2,493棟
焼失棟数	11,004棟
死者数	314人
負傷者数	3,564人
避難者数	129,837人

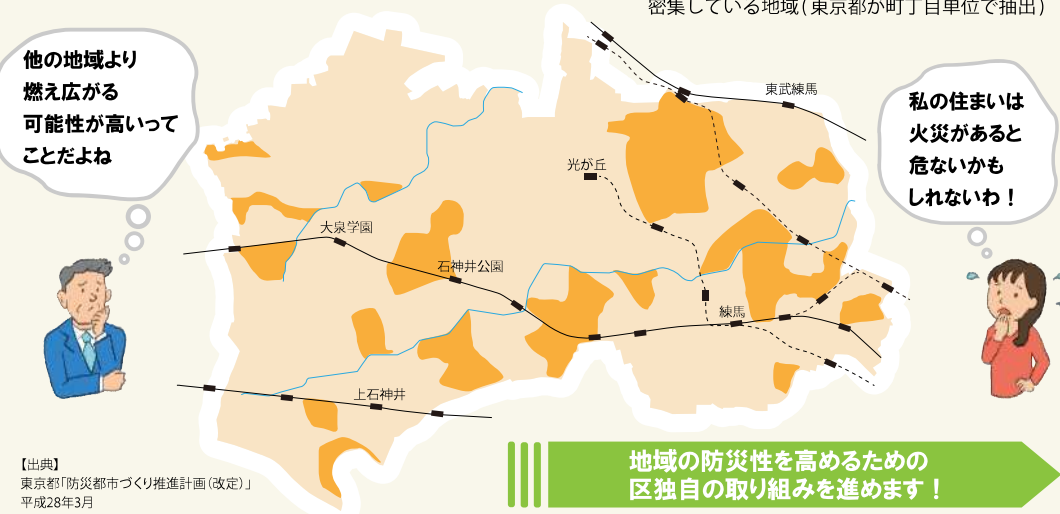
令和4年5月 東京都防災会議
 「首都直下地震等による東京の被害想定」



【出典】神戸市

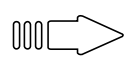
練馬区の老朽木造住宅の密集する地域

■ 震災時に延焼被害の恐れのある老朽木造住宅が密集している地域（東京都が町丁目単位で抽出）



【出典】東京都「防災都市づくり推進計画(改定)」平成28年3月

地域の防災性を高めるための区独自の取り組みを進めます！



1 燃え広がらないまちに!

住宅の
建替え等の費用の助成



建物除却



もしも、
地震が
起こったら...



住宅の倒壊も
怖い、
火事の
燃え広がりも
本当に怖いわ!

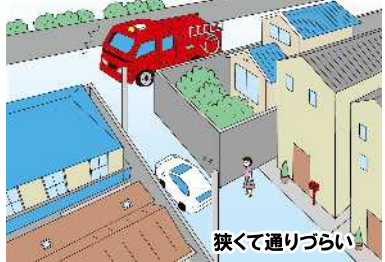


木造住宅密集と火災

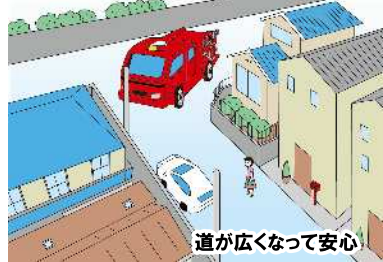
阪神淡路大震災では、神戸市長田地区など、**木造住宅が密集**する地区を中心に火災が発生し、**7574棟**もの建物が焼損しました。新潟県糸魚川市では、同じく木造住宅が密集する市街地で、**1棟から発生**した火災により**147棟**が焼損しました。

2 逃げ遅れないまちに!

狭い道路幅
整備助成



道路幅



もしも、
地震が
起こったら...



危険で
あぶないから
通れない!



道路閉塞と地震

阪神淡路大震災では、がれきや電柱の倒壊により、数多くの**道路が閉塞**し、救助、消火、物資輸送などの救援活動にも多大な影響を及ぼしました。特に、**幅4m未満の道路**では、人の通行が**7割以上**、車の通行に至っては**9割以上**で困難な状況になりました。

3 危険なブロック塀のないまちに!

ブロック塀等
撤去費用助成



ブロック塀撤去



もしも、
地震が
起こったら...



ブロック塀が
倒れたら大変!
下敷きになっちゃうよ!



ブロック塀と地震

大阪北部地震や近年発生した大きな地震では、**ブロック塀等の倒壊**により、尊い命が失われています。危険なブロック塀等の倒壊により、他人の生命、身体、財産に危害を与えてしまった場合、所有者や管理者として**損害賠償責任**を負う可能性があります。

区独自に地区を指定して、防災まちづくり事業に取り組みます!

区は、燃えやすい建物の密度やオープンスペースの少なさを検証し、木造住宅密集地域の中から、集中的に防災性の向上に取り組む3地区を、区独自の「防災まちづくり推進地区」に指定しました。

「防災まちづくり推進地区」に指定した田柄、富士見台駅南側、下石神井の3地区では、住民の皆さまと地域の課題を共有し、協力して「防災まちづくり事業」に取り組みます。

※密集住宅市街地整備促進事業により、防災まちづくりを行っている地区

